

平成29年度 第2回伊東市政モニター会議録（要旨）

日 時 平成29年11月21日（火）午後3時～4時20分

場 所 市役所7階市長公室

出席者 市政モニター5人（欠席3人）

市長、若山副市長、佐野副市長、杉本市長戦略監、中村企画部長、
事務局（市政戦略課長、市政戦略課主査）

1 開会

2 市長あいさつ

- ・本年度はタウンミーティングを通し、多くの意見を聴くことができた。
- ・市政モニターの皆様からも多くのご意見ご提案をいただき、しっかりと市政に反映させていきたい。

3 懇談

【モニターA氏】

資料1 小野市長の主要施策について

プレイングマネージャー、ボトムアップ市政、賑わいの創出の観点から大いに期待しています。第1回会議の話と同様ですが、まずは若年層雇用の創出を優先して取り組んでいただきたい。そして、交通ネットワーク整備、伊東の農業の3点について重要課題として取り入れていただきたい。

やはり若者がいる街が賑やかになるため、若者の流出を防ぐ対策を取り、若者が暮らせる伊東市となるよう取り組んでいただきたい。

主要施策、3つの大きな柱については大賛成であり期待しています。

「みんながつくる伊東市」についてはシニア世代が活躍できる場とともに、若年層が活躍できる場も併せて考えていただきたい。

賑わいの創出については、私自身も望んでいますので大いに期待しています。その中で、交通アクセス整備及び伊東ブランドの創出についての具体的イメージをお聞かせいただきたい。

生涯スポーツのまち伊東については、第1回会議の際に大学誘致について提案させていただきました。できれば大学、専門学校、専修学校、職業訓練校等の誘致を考えていただきたい。

図書館文化ホール建設基本構想については、旧マンドリンホテル跡地が適地ではないかと考えています。

「みんなが暮らす伊東市」については子育て支援の充実に大いに賛成です。他市の事例では、子育て支援をしてもその後流出してしまうということがあるた

め、流出防止策を含めた支援をお願いしたい。

移住定住施策についても、シニア世代はあえて施策をとらなくても移住する方は多いため、若年層の移住定住施策に重点を置いていただきたい。

今回開催されたタウンミーティングに関する広報記事を見て、政策目標４の「場の力が創造する魅力・活力のあるまち」に一番に期待しています。

最後に、ハード面ソフト面の両立したサプライズ市政を希望します。

資料２ 提案・改善メモ（参考）

雇用の促進、観光の促進、市民の方から聞いたことを改善として書かせていただいていますのでご覧ください。

【市長】

事前準備と丁寧な説明をありがとうございます。

若者が集う街づくりというのは、私もポイントだと考えております。地元企業は中小企業が多く、長所は多いがそれを発揮できていない、周知できていないと感じています。

今後、ハローワークと共同で個々の企業のアピールポイントを広く知らせる場の創設を考えています。若者の雇用を作り出すため、それぞれが持っている力の情報を集約し、広く周知してまいります。

交通アクセスの利便性向上については、ＪＲ２社の連携（熱海駅での乗り継ぎの待ち時間解消）を今後も更に要望していきます。公共交通ネットワークをニーズに合わせて構築していきたいと考えています。

【モニターＡ氏】

連絡フェリーの方はどうでしょうか。

【市長】

まだ具体的ではありませんが、協力を申し出てくれている方もいます。港の構造などを検証する必要がありますが、可能性について検討してまいりたいと思います。

伊東ブランドの創出については、いとう地魚王国の魚や、加熱用クッキングトマト「アイランドルビー」が地域の特産物となるよう、販路拡大やレシピ作りに取り組んでいます。

大学の誘致については、新規の大学開設は難しいと考えています。しかし、例えば観光に特化した学部をサテライトキャンパスとして提案することは可能だと考えます。

図書館文化ホールの建て替え場所については、旧マンダリンホテル跡地を望む声は多く、候補地の一つと考えております。

子育て支援策については30年度から具体的に実施してまいります。伊東に住み子育てしたいと思う人を増やすためには、オール市民で取り組む必要がありますので、伊東の良い点を皆様にもアピールしていただけるよう取り組んでまいります。

場の力の創造については、伊東が持っている潜在力を伸ばしていくことを考えております。熱海と比較されることが多いですが、伊東にはもっと優れた点があります。私たちの持っている力を検証し、次の展開に繋げていきたいと考えております。

ご提案と改善メモについては参考にさせていただきます。

【モニターB氏】

広報のタウンミーティング特集を読み、私たちが普段思っていることが各地でも意見として出されていると感じました。市内全体で実施しての印象はいかがでしょうか。

【市長】

従前も様々な方法で皆様の意見を伺い、市政へ反映させてきましたが、市長自らが直接伺う機会は少なかったと思います。そこで私は自らが赴き、現場で皆様のご要望等を直接聴くためにタウンミーティングを実施しました。区長を始め、ご出席の皆様が具体的に課題について話をしてくださって、今まで聞けなかった話を聞くことができました。対応可能なご要望等については早急に対処してまいります。

【モニターB氏】

色々な市民と会いふれあいや、色々な市民像があったのではないのでしょうか。

【市長】

それぞれの立場が違いますのでご意見も様々ありますが、以前から伊東に住んでいる方も新しく住む方も、それぞれ伊東の魅力を感じていることと思います。今後も毎年タウンミーティングを開催し、皆様から直接お話を伺うことで市の行うべきことを確認していくことは必要だと考えております。

【モニターB氏】

エフエム熱海湯河原では熱海市の斎藤市長のコーナーがあり、斎藤市長が電

話で質問を受けて答えています。ふれあいや身近な課題を把握する良い機会として、小野市長もそのようなラジオ番組をお持ちになったらどうでしょうか。

【市長】

エフエム伊東でも皆様に楽しく聞いていただき、為になる番組を作りたいと考えておりますので、ご提案についても検討してまいります。

【モニターA氏】

小野市長のトップセールスとして、食レポなどでメディアに出てみてはいかがでしょうか。

【モニターB氏】

市長が身近に感じられますね。

【モニターC氏】

フェイスブックなどを活用されている市長も多くいらっしゃいますね。

【市長】

今は自分で情報を集めて、ゴルフをやるならどこなど、決めて遊びに来ていますね。

【モニターC氏】

仕事柄、伊東の産業、街の活気のために、ゴルフ場や宿泊施設を首都圏へセールスに行きます。色々な観光地があり競争相手がたくさんいる中で、どのように勝っていくかを常に考えながらセールスを行っています。商談会で地魚、温泉、山、湖などの伊東の魅力をアピールしますが、同じような魅力を持つ観光地は他にもあります。

そこで、伊東ならではの特色を打ち出す必要があると考えています。例えば、大間のマグロ、氷見のブリ、神戸ビーフというような地域ブランドをつくってはどうか。

私は、川奈沖のキンメダイが一番おいしいと思っています。現在、キンメといえば稲取かもしれませんが、伊東の規模と宣伝力を駆使し、キンメといえば伊東となるよう「伊東のキンメ」をアピールしてはどうか。

また、伊東には5か所、伊豆半島全体では26コースのゴルフコースがあります。首都圏から近い場所でこれだけゴルフ場が集積されている場所は他になく、商品になると考えています。市長が提案する滞在型リゾートとして誘客するに

は、何か目的を設け連泊につなげる必要があると考えています。

かつて日本航空ではハワイ線で他社との競争に勝つために、“ハワイに来てください”ではなく、“ホノルルマラソンに来てください”という「コト消費」にするという戦略をとりました。

同様に、“温泉、山、海がある伊東に来てください”というよりは、稲取も含めて6コースあるので、“伊豆にゴルフに来てください、2泊すれば3コースできます”などストーリー性のある集客ができればと考えています。

【市長】

最近ではゴルフに限らず目的型になっており、その情報も個人がSNSなどを活用し自分で得るようになっていきます。そのため、本市が持つ魅力、ブランド、場の力の発信方法が大事になっていると考えます。

滞在型リゾートについては、個々の事業所だけでなく本市も一緒になり進めてまいります。例えば、市内の飲食、ゴルフ、美術館等何でも使える商品券を作り、宿泊者にインセンティブとして付けることで、本市の持つ魅力を紹介することを進めていきたいと考えています。

各事業所で考えていただいた企画を市で集約し、お客様が楽しめる材料を提供することが必要であると考えています。宿泊産業、屋内・屋外レジャー、飲食業等一体となり、共有できる発信方法に取り組みたいと考えています。

【モニターC氏】

キンメをぜひ伊東のものにしたい。市の魚なんてどうでしょうか。

【市長】

市の魚いいですね。

【モニターB氏】

せっかくのキンメ列車も、知らない方は金魚と言っていますので、もう少しキンメらしくできないでしょうか。

【市長戦略監】

川奈沖のキンメがおいしいという理由は？

【モニターC氏】

聞いた話ですが、稲取や下田ではキンメを東京の市場に出すためたくさん捕るので、港に戻るまで時間がかかるのに加え、陸送にも時間がかかるようです。

川奈は上がったキンメをすぐに市場に出すので、鮮度の違いによりおいしいようです。

【モニターB氏】

先ほどのコト消費についてです。先日開催した夢コンサートは、東京から踊り子号に乗り一泊してコンサートを見るというツアーになり、多くのお客様が集まりました。首都圏から近いというメリットを生かし、伊東で音楽祭を開催してはどうでしょうか。また、そのためには良いホールを造っていただきたいと思います。

【モニターA氏】

観光について、前回会議でもお話しましたが、伊東市の目玉が大事だと思います。“伊東といったら〇〇だ”という何かが欲しいと感じています。

【市長】

確かに伊東は色々な魅力がありすぎて、どれが目玉というのは難しいですね。

【モニターD氏】

要望ですが、大川浄水場の前を車で通ったところ段差があり、かなりの衝撃を受けました。友人には観光地なのに道が悪いと言われました。道路は人と人をつなぐ、物取引をする、文化情報を運ぶ上では欠かせません。観光地としては道路整備をお願いしたいです。

また、伊東駅のトイレは段差があり、荷物置き場はなく、清潔ではないため、特に観光客にとっては大変使いづらいと思います。デパートや観光地でお手洗いがきれいだと嬉しくなります。特に女性は写真を撮るときにメイクをするので、お手洗いが美しく清潔で化粧台などの設備が充実していれば、街の印象が上がることにも繋がります。

先ほどのキンメについてですが、市と漁協、商工会議所で伊豆いとう地魚王国を実施している中で、キンメについてはかなりお問い合わせが多く、需要がある印象があります。

【モニターA氏】

東京の仲間たちが伊東に遊びに来るときには、キンメは伊東のものだと思っています。

【モニターC氏】

キンメは稲取というのは我々の思い込みでしょうか。

【佐野副市長】

県の観光政策課でキャンペーンを行う際には、キンメは稲取や東伊豆という発想です。

【モニターB氏】

伊東ブランドのお土産が本当に少ないと感じます。「伊豆」と付くものは多くありますが、「伊東」という名前の付いたお土産が少ないです。せっかく伊東へ来たお客様へのお土産として「伊東」と付いたものがあると渡しやすいと思います。

【市長】

道路整備については皆様の声を反映できるよう努めています。先ほどの大川浄水場付近の他にも気付いたところがあればお寄せいただきたい。

【モニターD氏】

道がきれいであれば遊びに来やすく、色々なところを巡ってくれると思います。観光地としての強みになるのではないのでしょうか。

【市長】

駅のトイレについてはなるべく早く全面改修したいと考えています。女性の化粧スペースのご提案は大変参考になります。本市ではそれぞれのスポットの観光トイレの整備に力を入れております。今後もユニバーサルデザインや女性に配慮したトイレを作っていきたいと考えています。

【モニターD氏】

女子高生がデパートのトイレで、お手洗いの鏡に映る自分たちを写真に撮っているのを見かけたことがあり、それはトイレがきれいな証拠ではないかと思います。

【モニターB氏】

私も電車等で移動し疲れたときに、駅ビルのきれいなトイレに行くとリラックスできます。東京ではきれいなトイレが増えています。

【モニターA氏】

駅前整備の市長のイメージはどんな感じでしょうか？

【市長】

まず、トイレについてはすぐに取り組みます。全体についてはそれぞれの地権者がいますので、進めるためには大変な力、つまりお金や年月が必要と考えています。しかし、まず話をしなければ進みません。代表者の皆様と話し合いを行い、私の構想をお伝えしそれから個々の相談に応じていきたいと考えています。

【モニターA氏】

構想にはサイクリングロードも含まれていますか。

【市長】

安全対策が課題となりますが、検討はしてみたいと思います。

【モニターB氏】

駅前トイレについてはデザインコンペを行い、他にはないデザインのトイレを作ってはどうか。競い合った方がいいものができると思います。

【市長】

デザインをどこまで求めるかは難しいところだと思います。デザイン性を高めると経費が増えます。トイレ改修の費用については市民の皆様の理解を得る必要があります。

【市長戦略監】

伊東駅のトイレについてはJRの所有であり、トイレと駅舎が一体化しているため条件が厳しく、かなり制約があります。他のトイレでできるところはデザインコンペなどの手法も取り入れていきたいと思います。

【モニターE氏】

雨天時にも家族連れが楽しめる施設があるといいと思います。伊豆高原には美術館等が多くありますが、子ども向けではない場合もあり、伊東駅周辺に体験、体感できるような施設があればと思います。例えば、着物や芸者の衣装に着替えて写真を撮り、街を歩けるような参加型のものはどうか。

漁師町風の街並みの中、地魚の食事ができるようなエリアがあるといいと思います。

【市長】

全天候型施設として、水族館のご提案をいただくことも多いです。ご提案の着物や浴衣、芸者の衣装等で街を歩けるのも良いアイデアだと思います。

【モニターE氏】

奥野ダムも良いところで普段から賑やかになるといいと思います。今話題のダムカレーなど食事ができる場所や、体験イベントとしてダム施設を歩けるコースなどがあれば楽しめるのではないのでしょうか。

【モニターB氏】

夏休みのダム教室は人気がありますね。

【市長】

開催回数を増やせるといいですね。

【若山副市長】

人気があるイベントなので、制約はあるかもしれませんが、もっとできると思います。

【モニターA氏】

農業の関係について、伊豆急行が第6次産業としてオリーブ油を作っていますが、行政としてはどのように受け止めていますか。

【市長】

着眼点がすごく良いと思います。小豆島のオリーブが有名ですが、アイランドルビーと同じように伊東のオリーブ油として特産品となっていくことを望んでいます。

【モニターA氏】

行政としても力を入れていく予定ですか。

【市長】

もちろん産業に力を入れていくことは間違いありません。遊休農地等も有効活用できればと考えています。

【モニターC氏】

私もオリーブの木を伊豆急行から預かって育てております。常緑樹であるため冬でも見た目が淋しくならず、伊東の気候やリゾート地としてのイメージに合っています。市全体で力を入れられるのではないのでしょうか。

【モニターE氏】

バルにも活用できるのではないのでしょうか。

【モニターA氏】

遠距離通勤者への支援もぜひお願いしたいと思います。遠距離通勤者が増えていますので重ねてお願いしたいと思います。

【市長】

多くの人が新幹線通勤をしていることは承知しており、移住を進めていく中では必要で有効な手立ての一つだと考えています。まだ具体的ではありませんが、対象人数や対象範囲などは今後検討してまいります。

【モニターC氏】

伊東の駅前を再開発して、その周辺をマンションにするというのも良いのではないのでしょうか。伊東駅からであれば首都圏へ通勤可能な距離であり、通勤に便利な場所にマンションがあれば人口が増える可能性が出てくるのではないのでしょうか。

【モニターB氏・モニターA氏】

実際に駅前の高層マンションは便利です。別荘地では車がないと移動できませんが、駅に近い場所であれば歩いて町中に飲みに行くことができます。

【市長】

駅周辺の建物の高さ制限等規制はあるかもしれませんが、面白い意見だと思います。色々と参考になります。

【課長】

本日は貴重なご提言ありがとうございました。今後も何かお気づきの点がありましたら、モニター通信としてお寄せください。